

[第 170 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

2026 年 1 月



主 催 NPO 法人高島藤樹会

- 日 時 2026 年 2 月 7 日 (土) 15 時～17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎ 0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社) p.252～
- 塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

2026 年 1 月 10 日(土)、安曇川公民館で第 169 回藤樹人間学塾を開きました。今回は京都から 1 名、大津から 5 名を入れて 17 名の参加でした(今までの最高人数、うち初参加 7 名)。

■ 15 年目に入るので田中が講話しました

- ・ 冒頭、大谷翔平選手について。彼がシーズンの MVP を受賞した時、トロフィーに“チームの努力”というプレートを添えた。彼のこういう姿勢がチームを一つにさせドジャーズはワールドシリーズ連覇を成し遂げた。大谷は陽明学の影響を受けており、藤樹思想とつながっていると話しました。
- ・ まず中江藤樹先生の生涯について話しました。(1) ふるさと小川村からの旅立ち、(2) 米子での 1 年間、(3) 大洲への国替え、(4) 立志、(5) 立志祭、(6) 文武両道「これからの武士とは」、(7) きびしい独学、(8) 大洲に蒔かれた学問の種、(9) 果てしない父母の恩と脱藩の道、(10) 小川村での生き方。
- ・ 次にその教えの説明をしました。(11) 藤樹先生が拝誦されていた『孝経』、(12) 藤樹先生と『孝経』、(13) 孝の根本、(14) 藤樹先生の「孝」の思想、(15) 致良知、(16) 五事を正す。
- ・ 藤樹先生のエピソードを話しました。(17) 馬方又左衛門、(18) 大野了佐、(19) 藤樹先生の妻への対応。終わりに(20) 「孝」の思想を全滋賀、全日本、全世界へ広げる、と話しました。
- ・ 藤樹先生の「孝」の思想について。「全孝図」を示して、私たちは親から祖先を遡っていくと大宇宙(太虚、神仏)に行きつき、大宇宙の分身といえる。それは隣人も動物たちも虫たちも植物たちも同じであり、みんな兄弟姉妹である。だから仲良くしなければならない。これを 400 年前に藤樹先生が言われているのだからすごいでしょうと述べました。



■ フリートーキング

- ・ 「学んだことを何に生かすか。何のために生きているのかを考える。自分の信念を貫くことの大切さを学んだ」
 - ・ 「恕(思いやり)と自分の信念を貫くことで葛藤がある」
 - ・ 「今日学んだことを生活の中で実行していきたい」
 - ・ 「全孝図の教えは浄土教の教えとほぼ同じだと思う」・ 「「孝」の教えを広めてほしい」
 - ・ 「「全孝図」の考え方を基に生きて行こうと思います」
- などの意見をいただきました。ありがとうございます。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！ 難しいところも資料を用意して分かりやすく解説します。参加費無料です！ 人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。